

実施報告

# 江差町立江差小学校

\*学級数 11 \*児童数 196

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道江差高等学校	教諭	河田 淳一	物理

## 【本事業のねらい】

物質の状態は、固体・液体・気体の3つしかないことは一般的に知られているが、液体・気体が流体の振る舞いをするのはあまり知られていない。流体の基礎を通して、科学の不思議さ、楽しさをいっそう児童が味わうことを目的に実施した。

## 【実施内容】

1月22日13:30~15:00、江差小学校6年1組教室において、35名の児童を対象に、物質の三態について内容を説明した後、気流の現象を実演し、さらにストローを用いた実験器具を各自が工作によって作成し、実験そのものへの意欲付けと、ものづくりの楽しさについて実感できる理科の授業を行った。



## 【本事業での主な児童の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・ストローの下の部分を2カ所切ったら音が高くなってびっくりした。すごく楽しかった。また来てほしいです。
- ・すごくわかりやすいし、面白くて楽しかった。ストローであんな音が出るとは思わなかった。
- ・面白かったです。ストローの切り口を変えるだけで音が出たのには、びっくりしました。今度は穴を開けてリコーダーみたいにして音を出したいです。
- ・先生の話はすごく面白かったです。自分の将来が困らないよう勉強を一生懸命頑張ろうと思った。高校のイメージは正直悪いイメージがあったけど、面白い先生やいろんな考え方があったので、この理科の授業があって良かったと思った。
- ・ストローを2回切って音が出せたのがびっくりした。
- ・ストローが一瞬鳴ったきり鳴らなくなった。物理は難しそうだったけど、奥が深いと感じた。

## 【来年度以降の実施に向けて】

事前調査では「電流」単元の学習内容を希望していたが、使用器具の費用の関係で発展的な内容の授業となった。